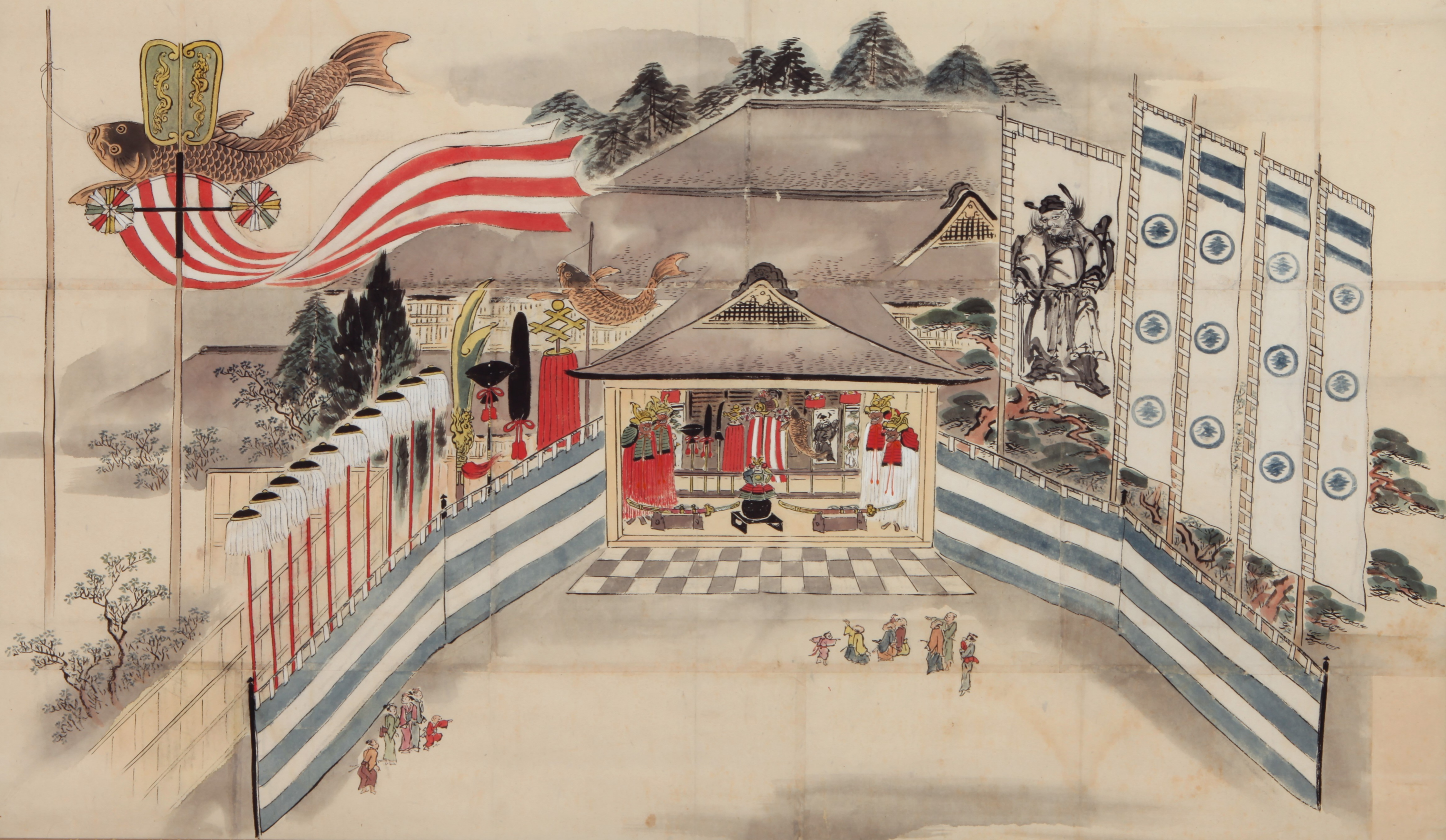


令和8年 春季通常展

端午の節句図



新発田藩の歴史資料

令和8年

4.4(土) - 6.16(火)

新発田市立歴史図書館
1階展示室 入場無料

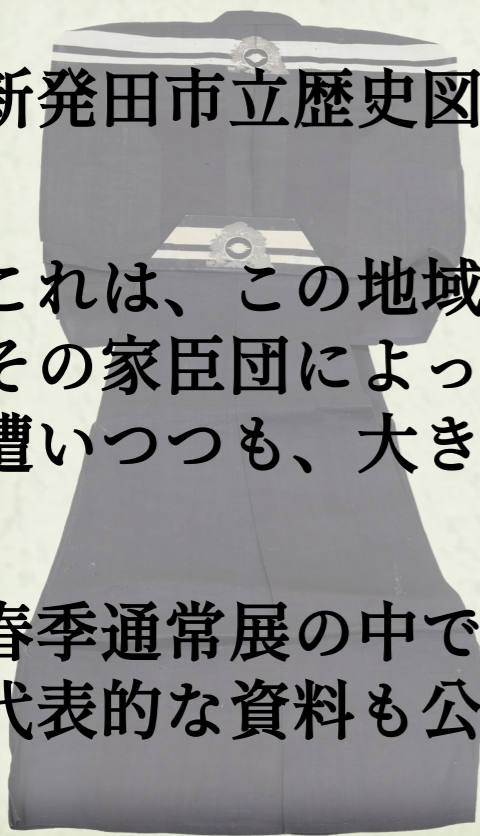
■時間/9:00-17:00 ■休館日/毎週月曜日

※祝日の月曜は開館し、次の平日に休館します

新発田市立歴史図書館には、新発田藩に關係する古文書類が豊富に保管されています。

これは、この地域に起きた出来事が江戸時代のはじめから終わりまで、溝口氏という大名家とその家臣団によって記録され、保管されてきたこと、そして度重なる大火・大雨などの災害に遭いつつも、大きな戦乱の被害に巻き込まれずに継承されたのです。

春季通常展の中で令和3年3月に新潟県指定文化財となった「新発田藩資料」約5千点のうち、代表的な資料も公開します。



幼児袴



華鮮院枕

「城下町まち歩き～清水谷・蔵春閣編～」

— 江戸時代の町絵図を手掛かりに

歴史散策をしませんか？ —

- 日時 4月25日(土)
13:30～16:00 ※終了予定 (受付13:00～)
- 定員 15名(申し込み先着順)
- 対象 どなたでも(初めての方を優先します)
- 参加費 200円(保険料、入館料、資料代)
- 集合場所 イクネスしばた 3階 多目的室6、7
- 受付 4月9日(木)～ 電話か事務室まで。



「ギャラリートーク」当館職員による展示解説

4月4日(土)、5月2日(土)、6月6日(土)

・11:00～11:30 (※終了予定) ・13:30～14:00 (※終了予定)

※事前申込不要。当日1階展示室へお越しください。



新発田城本丸庭園

1階 小展示室2

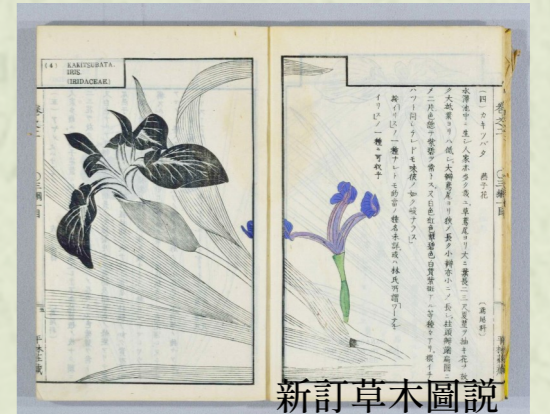
そうもくずせつ

「新訂草木圖説～古文書に描かれる春の野草～」

いいぬまよくさい

江戸時代後期の医師であり植物学者でもある飯沼慾齋。

顕微鏡を用いて植物を研究し、精密な描写で記録を行ったため日本の植物学の進展に大きく影響を与えました。



新訂草木圖説

そんな彼の執筆した『草木圖説』の一部を展示いたします。

次回展示予告「新発田のまつり」7月4日(土)～9月23日(水・祝)

新発田総鎮守の諏訪神社が現在の場所に遷座され、しばた台輪による祭りの運航が始まって、今年が300年目に当たります。

これを機会に新発田で行われている祭りの歴史や当時の様子、かつて新発田周辺の集落で行われ、現在では担い手が途絶えてしまった祭りの資料を集め、行事としての新発田のまつりを紹介します。



アクセス

- バス: JR新発田駅から市街地循環バス(あやめバス)で7分
『新発田カトリック教会前』下車3分
- 徒歩: JR新発田駅から徒歩約13分
- お車: 図書館隣接の市第3・第4駐車場をご利用ください
※入庫時に発行される駐車券を館内で無料処理します

電話 0254(24)2100 新発田市中心4-11-27



歴史図書館HP